

みずほCustomer Desk Report 2022/04/12 号 (As of 2022/04/11)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	124.63
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	124.39	1.0885	135.40	1.3030	0.7446
SYD-NY High	125.77	1.0955	137.13	1.3057	0.7465
SYD-NY Low	123.97	1.0873	135.40	1.2990	0.7410
NY 5:00 PM	125.38	1.0884	136.49	1.3029	0.7420

NY DOW	34,308.08	▲ 413.04	日本2年債	-0.0900	▲1.00bp
NASDAQ	13,411.96	▲ 299.04	日本10年債	0.2400	1.00bp
S&P	4,412.53	▲ 75.75	米国2年債	2.4986	▲1.61bp
日経平均	26,821.52	▲ 164.28	米国5年債	2.7838	2.99bp
TOPIX	1,889.64	▲ 7.15	米国10年債	2.7734	7.05bp
シカゴ日経先物	26,775.00	▲ 255.00	独10年債	0.8095	10.30bp
ロンドンFT	7,618.31	▲ 51.25	英10年債	1.8450	9.45bp
DAX	14,192.78	▲ 90.89	豪10年債	3.0110	4.40bp
ハンセン指数	21,208.30	▲ 663.71	USDJPY 1M Vol	10.05	1.08%
上海総合	3,167.13	▲ 84.72	USDJPY 3M Vol	9.39	0.51%
NY金	1,948.20	2.60	USDJPY 6M Vol	9.13	0.49%
WTI	94.29	▲ 3.97	USDJPY 1M 25RR	0.20	Yen Put Over
CRB指数	295.168	▲3.04	EURJPY 3M Vol	10.13	0.07%
ドルインデックス	99.93	0.14	EURJPY 6M Vol	9.90	0.13%

東京	東京時間のドル円は124.39レベルでオープン。前週末からの米金利上昇を背景としてドルが強含む動きに上値を試す展開。午後には125円台に乗せると、ストップも巻き込みながら直近3/28の高値125.10を難なく通過し、約6年10ヶ月ぶりの円安・ドル高水準となる125.40まで上伸。高値圏のまま125.32レベルで海外時間へ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、125.32レベルでオープン。本日は株安・債券安の中堅調な米金利に連れてドル円も上昇。125.70レベルまで買われ同レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0879レベルでオープン。週末の仏大統領選の経過を受けてアジア時間1.09台まで買われていたユーロは1.09を挟んだみ合いとなった。1.0874-1.0933のレンジで取引され1.0902レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	週明けのドル円は124円ちょうど付近でスタート。オセアニア時間に一時124円を割り込む場面もあったが、先週末に米長期金利が2.70%付近まで大幅に上昇したことが意識され、すぐ124円台半ばまで買い戻される。その後、黒田日銀総裁の「必要ならば躊躇なく追加緩和する」との発言が伝わったことや、米長期金利が2.78%付近まで続伸する動きから125円に迫る動きとなり、欧州勢参入後に125円を上げストップを巻き込みながら125.40まで上昇。その後、クロス円上昇にもサポートされ、125.70レベルでNYオープン。主要な米経済指標が予定されていない中、朝方はオープン前の流れを引き継ぎ高値125.77まで上昇。しかし、2015年6月高値の125.86が目先のレジスタンスとして意識される中、この水準で上値が重くなり、125.50近辺まで反落。午後は米金利上昇が一服し、米株も軟調に推移するも、特段リスクオフの円買いに転じる気配はなく、125円台半ばでもみ合い。終盤は小幅反落し、125.38レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.09台半ばでスタートし、米金利上昇や仏大統領選挙結果を警戒した売りが強まり、1.08台後半まで下落。その後、仏大統領選挙の第一回投票でマクロン氏が優勢だと伝わったことから1.0933まで反発する場面もあったが、買いは長続きせず、1.0902レベルでNYオープン。朝方は米金利上昇やロシア・ウクライナ戦争の長期化懸念が重しとなり、じり安推移。日通し安値を1.0873まで更新するが、この水準で下げ渋る。明日に米3月CPI、14日はECB理事会等の注目イベントを控える一方、本日午後は新規手がかり材料が乏しく、方向感無い推移が続く。結局、1.0884レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 西・小林

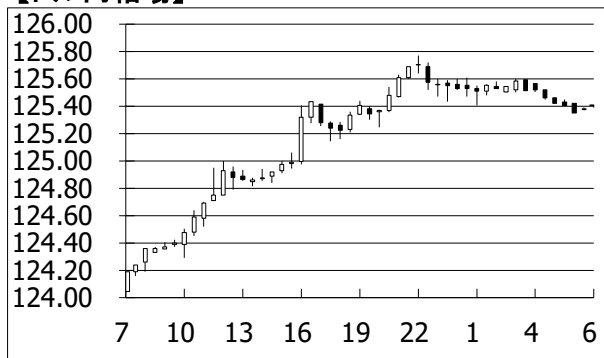
【昨日の指標等】

Date	Time	中	Event	結果	予想
4月11日	10:30		CPI(前年比)	3月 1.5%	1.4%

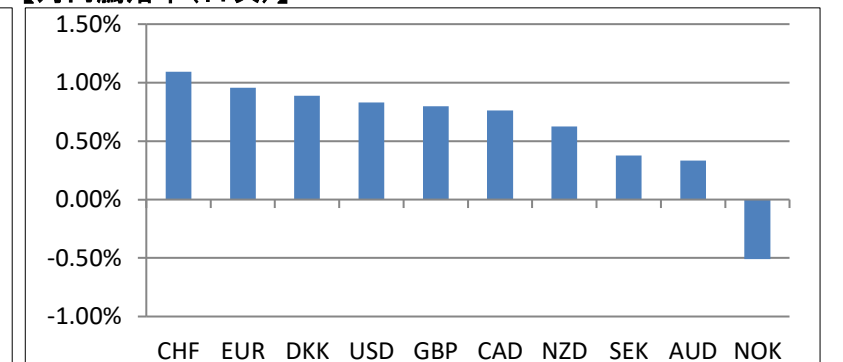
【本日の予定】

Date	Time	豪	独	英	欧	米	米	Event	予想	前回
4月12日	10:30							NAB企業 景況感/信頼感	3月 -	44817
	15:00							CPI(前月比前年比)・確報	3月 2.5%/7.3%	2.5%/7.3%
	15:00							週平均賃金(除賞与/3ヵ月/前年比)	2月 4.0%	3.8%
	18:00							ZEW景気期待指数	4月 -	-38.7
	21:30							CPI(前月比/前年比)	3月 1.2%/8.4%	0.8%/7.9%
4月13日	01:10							ブレイナードFRB理事 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	124.50-126.00	1.0750-1.1000	135.50-137.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル/円は急伸した。東京時間は124.39でオープン。米長期金利が2.78%まで上昇する流れを受けてドル買いが加速し、3/28の直近高値125.10を難なく通過。海外時間でも同様の流れを引き継ぎ、ニューヨーク時間には一時125.77まで上昇した。上昇一服後も125円台半ば近辺での推移を続け、125.38でクローズした。本日は、米3月消費者物価指数の発表で、5月FOMCでの50bp利上げの足場固めができるかに注目したい。昨日のドル円上昇相場では、本指標への期待感も一定程度影響していたと思われるため、市場予想8.4%を下回った場合の大幅な下落リスクには警戒が必要。